

## 信用金庫の地公体向け貸出の動向

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席調査役

とね かずゆき  
刀禰 和之

(ポイント)

- 全国信用金庫の2013年度末の地公体向け貸出金残高は、前期比5.5%増の4兆7,662億円となり、貸出金残高に占める割合も7.3%にまで高まった。
- 地区別の増減状況は、7地区で前期比増加し、4地区で前期を下回った。増加した地区では近畿の12.9%増が、減少した地区では四国の7.9%減が、それぞれ目立つ。2003年度末と比べると、近畿が4倍となったほか、東海、北陸、中国、関東が3倍を超えた。
- 信用金庫別の増減状況は、前期比「30%以上の増加」が28金庫、「10%以上30%未満の増加」が50金庫などとなった。貸出金に占める割合をみると、「20%以上」が33金庫、「10%以上20%未満」が86金庫、「5%以上10%未満」が66金庫、「5%未満」が82金庫となった。2003年度末と比べると、「30%以上」の信用金庫が1金庫から7金庫に増加している。
- 2013年度末の国内銀行の地公体向け貸出金残高は、前期比4.3%増の26兆200億円となり、前年度（6.1%増）より伸び率は鈍化した。

※本稿は、日本銀行「業種別貸出金調査表」より作成している。

### 1. 全国信用金庫の地公体向け貸出の動向

#### (1) 残高の推移

全国信用金庫の2013年度末の地公体向け貸出金残高は、前期比2,505億円、5.5%増の4兆7,662億円となった(図表1)。

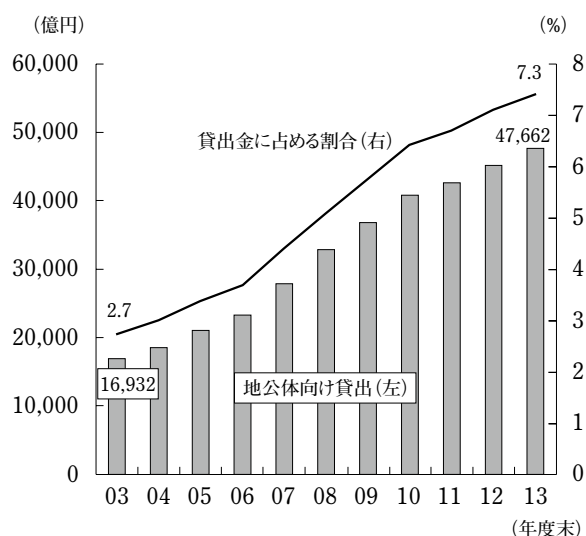
全国信用金庫の地公体向け貸出金残高は、貸出金全体の伸びを上回って推移している(図表2)。2003年度末(1兆6,923億円)と比較すると、3兆円、2.8倍増となる。

貸出金残高に占める割合も高まっており、2003年度末の2.7%から2013年度末には7.3%に達した。この水準は建設業向け貸出(7.4%、4.8兆円)とほぼ同水準である。

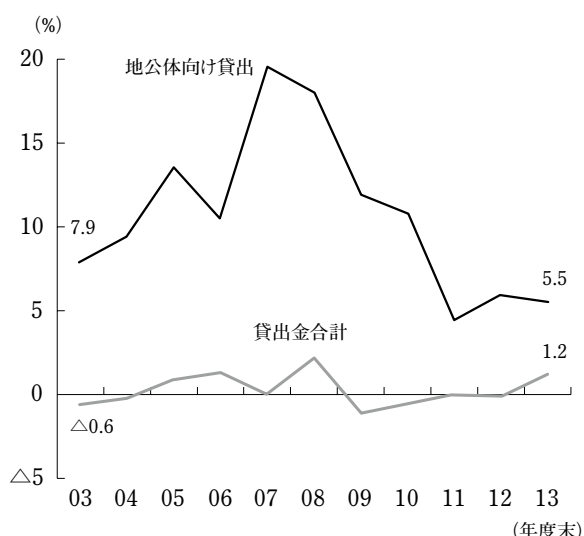
#### (2) 先数の推移

2013年度末の地公体向け貸出先数は、前期比15先、0.5%増加の2,543先となった。2003年度末(2,444先)と比べると、99先、4.0%の増加である。

図表1 地公体向け貸出金残高の推移



図表2 地公体向け貸出金残高の増減率の推移



## 2. 地区別の地公体向け貸出金残高

2013年度末の地区別の地公体向け貸出金残高は、7地区で前期比増加し、4地区で前期を下回った（図表3）。

前期比増加した地区をみると、近畿（12.9%

増）、北陸（8.3%増）、関東（6.9%増）の伸び率が高かった。一方、前期比減少した地区では、四国の7.4%減、九州北部の3.9%減が、それぞれ目立った。

2003年度末と比べると、全11地区で残高が増加した。近畿が4倍増に達したほか、東海、

図表3 地区別の地公体向け貸出金残高の推移

（単位：億円、%）

地区	03年度末		12年度末		13年度末		03年度末対比		12年度末対比	
	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	貸出金に占める割合	増減率	増減額	増減率	増減額	
										増減率
北海道	4,006	13.4	6,057	19.9	5,987	19.7	49.4	1,980	△ 1.1	△ 69
東北	1,307	5.4	2,937	13.3	2,919	13.1	123.2	1,611	△ 0.6	△ 17
東京	267	0.2	606	0.5	640	0.5	139.5	373	5.7	34
関東	2,824	2.4	8,110	6.8	8,675	7.2	207.1	5,850	6.9	565
北陸	754	4.0	2,606	15.6	2,824	17.1	274.4	2,070	8.3	218
東海	2,640	2.2	9,428	7.1	9,917	7.3	275.5	7,276	5.1	489
近畿	2,770	2.2	9,857	7.4	11,131	8.2	301.7	8,361	12.9	1,274
中国	876	2.9	2,767	9.2	2,832	9.4	223.0	1,955	2.3	64
四国	370	3.4	853	8.3	790	7.8	113.2	419	△ 7.4	△ 63
九州北部	573	5.0	633	5.4	608	5.1	6.0	34	△ 3.9	△ 25
南九州	499	3.2	1,186	8.2	1,234	8.3	147.0	734	4.0	47
合計	16,932	2.7	45,157	7.0	47,662	7.3	181.4	30,730	5.5	2,505

（備考） 1. 他業態との合併等は考慮していない。  
2. 沖縄県は合計に含む。

北陸、中国、関東も3倍増となった。その一方で、九州北部は6.0%の伸びにとどまった。

2013年度末の貸出金残高に占める地公体向け貸出の割合をみると、北海道の19.7%から、東京の0.5%まで地区によって差がみられる。

### 3. 信用金庫別の地公体向け貸出金残高

#### (1) 前期比増減状況

2013年度末の信用金庫別の地公体向け貸出金残高は、前期比増加が144金庫、前期比減少は112金庫となり、増加金庫が減少金庫を上回った（図表4、変化なし・取扱いなしの11金庫を除く）。

このうち、「前期比30%以上の増加」が28金庫、「10%以上30%未満の増加」が50金庫、「0%以上10%未満の増加」が66金庫、「△10%以上0%未満の減少」が70金庫、「△10%未満の減少」が42金庫などとなった。

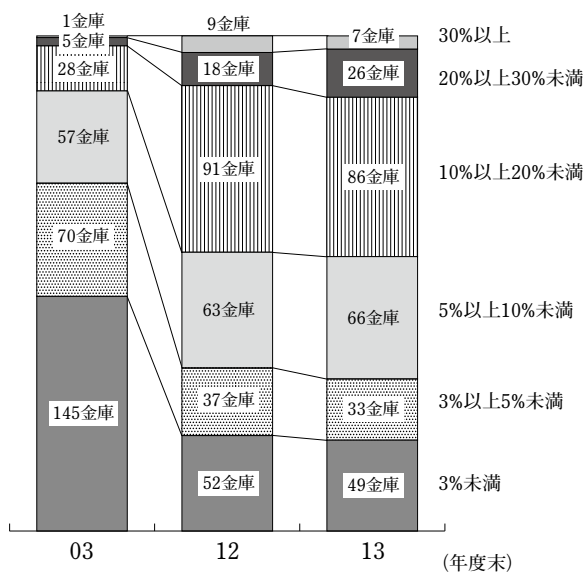
図表4 信用金庫別の地公体向け貸出金残高の前期比増減状況（13年度末）

(単位：金庫、%)

増減率	金庫数	構成比
30%以上	28	8.9
20%以上30%未満	17	6.3
10%以上20%未満	33	12.3
5%以上10%未満	22	8.2
0%以上5%未満	44	17.9
変化なし(取扱いなしを含む)	11	4.1
△5%以上0%未満	28	10.4
△10%以上△5%未満	42	15.7
△20%以上△10%未満	30	11.2
△20%未満	12	4.4
合計	267	100.0

(備考) 12年度末に取扱いがなく、13年度末に取扱いの生じた金庫は30%以上の増加とした。

図表5 信用金庫別の地公体向け貸出金残高の構成比



#### (2) 貸出金に占める構成比

2013年度末の貸出金残高に占める地公体向け貸出の割合は、「20%以上」が33金庫、「10%以上20%未満」が86金庫、「5%以上10%未満」が66金庫、「5%未満」は82金庫であった（図表5）。

2003年度末と比較すると、30%以上の割合が0.3%（1金庫）から2.6%（7金庫）に高まる一方で、3%未満の割合は、47.3%（145金庫）から18.3%（49金庫）に低下している。

### 4. 国内銀行の地公体向け貸出金残高

2013年度末の国内銀行の地公体向け貸出金残高は、前期比1兆868億円、4.3%増の26兆200億円となった。信用金庫と同様（5.9%増→5.5%増）、国内銀行も前年度（6.1%増→4.3%増）より伸び率は鈍化した。